

2019ひろしま避難者の会「アスチカ」会員情報のまとめとアンケート(配布用)

2019.3.8

ひろしま避難者の会「アスチカ」

【ひろしま避難者の会「アスチカ」とは？】

避難者による避難者のための会です。

東日本大震災の地震や津波、東京電力福島第一原発事故の避難者がここ広島で生活の基盤や気持ちを整えたり、同じ思いの仲間を見つけたりしながら、避難生活を落ち着かせ、次のステップへ踏み出すことをサポートする当事者団体として設立しました。現在、アスチカには103世帯335名の避難者が登録しています。

※「アスチカ」＝「明日へすすむ力」

表1 広島県把握の避難者数

	世帯数(人数)	%
岩手	2 (4)	1.6
宮城	29 (57)	22.8
福島	66 (178)	52.0
その他(関東地方など)	30 (72)	23.6
計	127 (311)	

2019年2月28日

※表1の人数は全国避難者情報システム(総務省)への本人からの登録により把握されている人数です。すべての避難・移住者が登録しているものではありません。広島県にも未登録の避難者が数多くいます。

表2 アスチカ会員世帯 避難元別

	世帯数(人数)	%
岩手県	0 (0)	0.0%
宮城県	9 (30)	8.7%
福島県	48 (157)	46.6%
関東地方	46 (148)	44.7%
計	103 (335)	

2019年2月28日

世帯数は10減。新規入会世帯は3世帯。避難元へ帰った方は4世帯、自主退会が4世帯、他県への転居が2世帯、転居先不明の方が1世帯。1世帯は分離して2世帯にもなっています。岩手県からの会員数は0になりました。関東からの避難者の登録者が、県把握より多くなっています。

表3 アスチカ会員 世帯状況

	世帯数	%
単身	8	7.8%
大人のみ	15	14.6%
大人+子ども世帯	80	77.7%
(うち母子世帯)	19	18.4%

単身世帯が減りました。

子ども世帯も、子どもの年齢層が未就学児～小学生低学年が中心でしたが、小学生高学年～中高生が中心になってきました。集まったときに中学校・高校が話題になることも増えました。

アスチカ会員アンケート結果 回収数 54世帯／103世帯(回収率 52.4%)

2月13日(水)郵送により配布 3月6日(水)までの回答分を集計

Q1 全国避難者登録システムに登録されていますか？

	回答数	%
登録している	35	64.8
登録していない	19	35.2

登録していても、引っ越し後には自分で変更手続きが必要なのだが、手続き漏れなども散見される。

Q2 住民票は異動しましたか？

	回答数	%
異動した	49	90.7
異動していない	4	7.4
無回答	1	1.9

異動した理由(複数回答あり)

	回答数	%
移住だから	22	44.9
今、住んでいる場所だから	12	24.5
避難先へ納税	2	4.1
仕事の都合	6	12.2
子どもの保育園や学校の都合	10	20.4
公営住宅入居のため	2	4.1
その他	2	4.1

異動しない理由(複数回答あり)

	回答数	%
不都合がない	1	25.0
家族のつながり	2	50.0
避難元の子どもの医療費支援が充実	1	25.0
福島県県民健康調査などの健康管理の維持	1	25.0
避難元への愛着	0	0.0
復興住宅への入居意向のため	1	25.0
その他	0	0.0

Q3 避難の理由は何ですか？

(複数回答あり)

	回答数	%
地震による家屋の消失・損壊	4	7.4
津波による家屋の消失・損壊	2	3.7
原発事故による強制避難	3	5.6
原発事故による健康影響(含、不安)	47	87.0
仕事がなくなった	1	1.9
精神的ストレス	19	35.2
余震への不安	15	27.8
原発事故悪化への不安	32	59.3
その他	7	13.0

広島には原発事故の影響で避難した人が多く、土地柄もあり、原発事故への感も高く持っていています。

しかし、津波と地震の影響で広島に来ている人も確実におり、広島での定住を決めている方もいます。そういう方がいることも知っていたらうれしいです。

(その他・自由記入)

原発事故の汚染がひどかったため／国の基準値や情報は信用できないという意思表示(個人的デモ)の意味もあった／子どもの進学を機に将来を考えたため／農作物への影響／東電へ支払いをしたくない

Q4 広島へ避難された理由は何ですか？

(複数回答あり)

	回答数	%
地震等自然災害が少ない	7	13.0
被災地から遠い	22	40.7
自然に恵まれている	9	16.7
被爆地であることへの期待	10	18.5
生活が便利	4	7.4
家族・親族がいる	24	44.4
友人・知人がいる	7	13.0
知っている避難者がいる	1	1.9
たまたま仕事が見つかった	13	24.1
以前住んだことがある	4	7.4
西の食材が手に入りやすい	10	18.5
一時避難・保養に来た縁	2	3.7
避難者への支援がある	3	5.6
その他	7	13.0

(その他・自由記入)

転勤／広島出身の友人のすすめ／たまたま住みたい土地が見つかった／親元が近い／仕事がなく行き場がなかった／すぐに借りられる農地があったので

避難の時期が早い会員は「家族・親族がいる」の選択が多め。「被災地から遠い」「西の食材が手に入りやすい」という選択が多いのは原発事故での避難者が多いから。

Q5 現在お住まいの住宅は？

【住宅支援を受けている方】

	回答数	%
県営住宅	0	0.0
市・町営住宅	1	1.9
ビレッジハウス (旧雇用促進住宅)	1	1.9
民間借り上げ住宅	0	0.0
その他	1	1.9

【住宅支援を受けていない方】

	回答数	%
県営住宅	0	0.0
市・町営住宅	2	3.7
ビレッジハウス (旧雇用促進住宅)	0	0.0
民間賃貸住宅	25	46.3
実家、親戚宅	6	11.1
持ち家	14	25.9
その他	4	7.4
無回答	0	0.0

(その他) 息子の家に同居、民間無料住宅、親の持ち家

Q6 お住まいでのお悩みはありますか？

- ・家賃が高い
- ・借家考えたが、両親を見送った私には連帯保証人を立てられず、あえて住宅ローンを組まざるを得なかった。
- ・善意で無償でお借りしているが、これからどうなるか不安。
- ・転居が数回。生活再建まで時間がかかっている。
- ・古いので洗濯機の排水ホースの差込口がなかったり、コンクリートむき出しで寒い。
- ・古い中古住宅なので、手がかかる。
- ・部屋が狭い。
- ・実家にいつまでもいるわけにはいかないが、家を借りる余力もない。
- ・個室がない。プライバシーがない。
- ・近所の方との関係が難しい。
- ・家主都合等何らかの理由で退去しなければならなくなったら、保証人が立てられないので契約できる物件がなかなか見つからないのではないかと不安。

Q7 現在ある公的支援(住宅支援、高速代無料<福島県母子避難者向け>、避難元情報の送付等)で改善を望む点がありますか？

- ・公的支援がない。支援が欲しい。
- ・打ち切りはしないでほしい。
- ・住宅支援の継続。
- ・関東地区からの避難者に対しても公的支援がほしい。
- ・支援は東日本全域に対して行うべき。

Q8 公的なもの、民間のものに関わらず、これから必要とする支援があればお書きください。

- ・戻る人への支援は多々あるが、移住してしまった者は特になく、子どもへの支援はあったらいいと思う。
- ・他県へ避難している同じ避難元出身者との交流、情報交換
- ・住宅購入やリフォームでの支援（どちらも期間限定で、短期間で終了しているの）
- ・高齢者向けの就業支援
- ・定期的な避難元への状況確認や元の家の貸家開始及び管理のために、交通費支援補助があればよい。
- ・家族と離れているので、育児サポートがなかなか得られず悩んだ。産前産後サポートしてもらえるサービスがあればいいのと思う。
- ・空き家バンクの整備
- ・移住支援。
- ・家族に会うための交通費補助。
- ・帰省費用の補助。
- ・仕事の紹介。
- ・避難者支援団体への支援金の継続。
- ・避難元の持ち家の管理
- ・安全な食材の確保

「避難者だから」というものばかりでなく、生活者として「あったらよい」と思われるものも含まれている。「誰にとっても暮らしやすい」「誰に対しても優しい」社会であれば、避難先での避難者の暮らしもスムーズに再建されやすいのかもしれない。

Q9 生活費を支えているものは何ですか？

(家族で避難されている世帯)

(複数回答あり)

	回答数
世帯主の収入	28
配偶者の収入	11
預貯金	6
年金	3
賠償金	1
精神的慰謝料	0
生活保護	0
失業給付	0
その他	1

(単身・母子等家族の一部で避難されている世帯)

(複数回答あり)

	回答数
ご本人の収入	10
家族からの仕送り	11
預貯金	4
年金	1
賠償金	0
精神的慰謝料	0
生活保護	0
失業給付	0
その他	0

Q10 生活費・収入は十分ですか？

	回答数	%
十分	7	13.0
まあ満足	24	44.4
苦しい	21	38.9
無回答・その他	2	3.7

(その他) ・やや不足

割合は大きくは変わっていない。「まあ満足」でも厳しさを感じている世帯は多い。この3月で、福島県の自主避難者への住宅支援終了に伴う緩和措置が終了する。

Q11 生活費・収入に関して、ご自由に

- ・ゆくゆくは避難元に戻らなければならないことを考えると、また転職しなくてはならず、年齢的にも職務的にも不安。
- ・年金生活は無理です。
- ・健康なうちは仕事ができ、生活が安定していたが、難病で体を壊し仕事ができなくなってしまった。回復したら仕事に就きたいが、いつになるかわからない。
- ・子どもが今年受験生で塾代や進学費用をどうするか考えなければいけないが、二重生活でなければもっと今より貯金が出来ていたよな、と最近よく考えてしまう。
- ・広島の家賃や食費、光熱費、子どもの習い事の月謝等、高いので生活費がかかる。
- ・生きていくために必要な金はわずか。いつでも大して困らない。
- ・私も働きたいが、都合の良いものが見つからない。
- ・二重生活で、収入のわりにゆとりが感じられない。
- ・国や県、政府はあてにしても仕方がない、自分たちだけの力で頑張るしかないと思いここまでこれた。なかなか思うようになりませんが、今年こそは！！
- ・低収入なので、ダブルワークでもしないと…とは思いますが、体力的に持たないだろうと思い、何とかやりくりしている状態。
- ・正職員の職を得たので生活費は以前より安定して得られる。
- ・進学に伴って支出が増える。収入を増やしたい。
- ・だいぶ原発事故前の水準に戻ってきた。十分ではなくとも、困ることはない。

Q12 お仕事面での悩みはありますか？

- ・内職などあったらいいなと探している。
- ・仕事があるだけで十分と考えるようにしている。
- ・子供が小学校に上がればもう少し働きたい。
- ・もっと収入を増やすためには転職をするしかないが、年齢的なことや無理もできないし、なかなか難しい。
- ・東北の人との違いを感じることもある。
- ・私もそろそろ働きたいと思っているが、長期休みや病気の時などに子どもを緊急で預かってほしい時に頼れる人がいないので、なかなか踏み出せない。ファミリーサポートも登録しているが、料金面を考えると頻繁には利用できそうもない。
- ・いつ避難元に帰るか未定なので、正社員に登用してもらえない。短期雇用社員で6年もやっている。
- ・広島、西日本に夫の希望する求人がない。
- ・非正規雇用なので、不安を抱えながら働いている。
- ・仕事が多忙で自分の時間が少ない。疲れる。

Q13 ご家族の中で健康に不安のある方はいらっしゃいますか？

	回答数	%
はい	22	40.7
いいえ	26	48.1
無回答	6	11.1

Q14 今後のご予定は決まっていますか？

	回答数	%
今住んでいる自治体へ定住	23	42.6
避難元ではないところへ移動	1	1.9
近いうちに避難元へ戻る	0	0.0
いずれ避難元へ戻る	2	3.7
決めていない	19	35.2
上記に当てはまらない	8	14.8
無回答	1	1.9

定住を決めている世帯が一番多いが、決めきれない世帯も少なくない。子どもと親の狭間で悩む世帯も増えている。

(今住んでいる自治体に定住する。)

- ・子供が成長するまで帰りたくない。
- ・子どもたちも慣れてきたから。
- ・店が近い、住みやすい、帰っても家がない
- ・良いところだから。
- ・仕事をしているから
- ・もう移転する力がない
- ・家を買ったから
- ・家族（兄弟）が近くにいる。子どもの学校関係で定住しやすいため。
- ・実家の農業を継いだり、避難前と同じ農的な暮らしができるから。
- ・夫の両親が近くにいる。
- ・今の生活が落ち着いてきたため

(避難元でないところへ移動)

- ・もっと西の方面へ移住する。暮らしやすく、子どもにとって良い環境を求めて。

(いずれ避難元へ戻る)

- ・避難元に家があるから。
- ・主人と母親のもとに戻らねばいけないため。

(決めていない)

- ・主人の仕事次第だが、なるべく避難元近くに戻れたらと思う。
- ・子供が成長していく段階で、その時その時どうするか考えていくつもり。親のこともあるので、まだ先は見えていない。
- ・決められない
- ・近くの原発が爆発したらまたどこかへ移動するから。戻りたいけど、戻らない。
- ・避難元の親が心配だが、原発事故の健康への影響が子供に及ぶのではないかと今でも思ってしまう。
- ・避難元に親が一人暮らしをしている。

(上記には当てはまらない)

- ・避難元であれ、その他の自治体であれ、今後は仕事次第
- ・高齢者向け住居を考えている。

- ・私は広島に定住したい。しかし、主人は帰って来いと言っている。子どもたちは全員広島在住を希望している。
- ・仕事さえ見つければ、また移動もありと考えている。

Q15 今、大変なこと、つらいことは何ですか？

(複数回答あり)

	回答数	%
仕事が見つからない	3	5.6
仕事にやりがいを感じない	4	7.4
生活費が足りない	16	29.6
支援が縮小していくこと	4	7.4
避難指示が解除されたこと	2	3.7
避難指示が解除されそうなこと	0	0.0
体調不良	11	20.4
忙しすぎる・自分の時間がないこと	12	22.2
親の介護	7	13.0
育児	3	5.6
子どもの教育・進路	11	20.4
家族バラバラに暮らしていること	10	18.5
避難元の親・親戚・友人になかなか会えないこと	21	38.9
心の余裕のなさ・精神的な不安定さ	13	24.1
家族間の意見の不一致(夫婦間、パートナーと自分)	5	9.3
家族間の意見の不一致(自分と親)	5	9.3
家族間の意見の不一致(自分と子ども)	1	1.9
避難元が復興しないこと	3	5.6
避難元の復興が望む形と違うこと	7	13.0
避難元に帰れないこと	5	9.3
今住む地域に親しい友人がいないこと	4	7.4
避難元の友人と疎遠になってしまったこと	13	24.1
震災や原発事故のことが世間から忘れられているように感じる	21	38.9
原発が再稼働されたこと	18	33.3
避難先の人たちと意識の差を感じる	12	22.2
避難への無理解	10	18.5
特にない	1	1.9
その他	5	9.3

(その他・補足説明)

- ・すでに親と死別に間に合わなかった。毎週通っていたが、もう少し何かできなかったのかと思ってしまう。
- ・日々生活することはそんなに困っていないが、帰省にお金がかかること、バイトが見つからないことで預金が出来ず、将来に不安がある。

- ・避難元にいる親の体調が悪いこと。
- ・原発に関して、また繰り返してはいけない、という思い。

「避難元の親・親戚・友人になかなか会えないこと」と「震災や原発事故のことが世間から忘れられているように感じること」が最多。前者は昨年より割合が増えている。後者は昨年も最多。そのあとは「原発が再稼働されたこと」、「生活費が足りない」と続く。「心の余裕のなさ・精神的な不安定さ」が昨年より大きく割合を増やしている。

Q16 今後、どんなことに不安がありますか？

(複数回答あり)

	回答数	%
避難先の生活が安定するか	11	20.4
自分の健康が保てるか	24	44.4
家族の健康が保てるか	22	40.7
避難し続けられるか	8	14.8
公的支援がいつまで続くか	3	5.6
避難指示が解除されること	0	0.0
子どもをしっかりと育てられるか	12	22.2
子どもの教育・進路	13	24.1
家族と一緒に暮らせるか	5	9.3
夫婦の関係が悪化しないか	1	1.9
避難元の親・親族との関係、付き合い	15	27.8
避難元へ帰れるか	0	0.0
避難元へ帰らなければいけないこと	5	9.3
避難元へ帰った時に孤立しないか	3	5.6
避難元にいる親の老後・介護	22	40.7
特になし	4	7.4
その他	3	5.6

- ・福島土地の管理・整備・草刈など。荒らしてはいけないと思っている。お墓もそのまま管理ができない。委託したいのだが、行政はやれないという。
- ・もし、帰った場合、避難者として子供がいじめられるのではないかと、自分も疎外されるのではないかと不安がある。帰ってから、何か良いことがあるのかわからないでいる。
- ・子供と親の心配がなくなったら、自分の老後の心配をするようになると思う。
- ・福島が日本で一番安全な地域だと政府が言い出すこと

あまり余裕のない暮らしの中で、健康への不安は依然高い。「避難元の親の老後」「避難元の親・親族との関係、付き合い」は昨年よりさらに割合を増やしている。やはり、年月と共に大きくなる問題である。子どもの今後への気持ちも依然高め。

Q17 震災から間もなく8年の時期になって、変化してきたことは何ですか？良いことでも悪いことでも気づきがあれば教えてください。

(複数回答あり)

	回答数	%
気持ちが穏やかになってきた	14	25.9
あきらめのような気持ちが強くなった	17	31.5
生活が安定してきた	13	24.1
楽しいことをしようという気持ちになってきた	16	29.6
無気力になってきた	2	3.7
前向きな気持ちになってきた	11	20.4
将来への不安が強くなった	7	13.0
広島に定住する気持ちが固まった	8	14.8
避難元へ帰りたい気持ちが強くなった	3	5.6
怒りが強くなった	4	7.4
変化はない	2	3.7
その他	10	18.5

(その他)

- ・実家も私がいなくて取り壊してしまった。とても寂しく残念。
- ・避難元のためになるようなことを避難先でできないか考えるようになった
- ・全国で様々な災害があって、福島のことではもう過去のようになっていく感じがする。原発事故は継続中だけど。
- ・避難元を離れたときは、不安や寂しさがあったが、今は広島に来てよかったと思っている。避難元もいいところだが、今は、自分にとって広島が一番合っていると感じる。
- ・福島での暮らしが遠く感じるようになってきたことの寂しさ。
- ・自分の希望を叶える生き方についてより考えるようになり、できることを実行している。
- ・こんなに強く原発事故が悔しいと感じるのは初めてのこと。今まで、それすら感じないように生きてきたと思う。
- ・母がけがをしたので、改めて老後の介護のことなどが心配になった
- ・世間の関心が薄くなったように感じていること。自分も少し怒りが薄らいでしまった。
- ・避難元の親、親族と離れて生活することになり、子どもたちにも寂しい思いをさせてしまったのではと後悔の思いもある。
- ・「避難」という言葉に違和感がある。「避難」より「移住」である。

Q18 自分を「避難者である」と言うことに抵抗はありますか？

	回答数	%
とても抵抗がある	6	11.1
少し抵抗がある	18	33.3
あまり抵抗はない	11	20.4
全く抵抗はない	19	35.2

□とても抵抗がある

- ・良い反応はない。
- ・移住してきたので、その意識はもうないこと。
- ・福島などではなく、東京からということが、受け入れられると思えない。
- ・定住しているし出てきた理由が避難だけであって、今は避難者な気持ではない。今年のテーマは脱・移住者。

□少し抵抗がある

- ・広島へは転勤で来たのがきっかけだから。
- ・移住のため。主人の仕事が安定し、家族で暮らせているから。
- ・8年たち、震災を忘れてきている人たちが大半なうえ、西日本豪雨などで被災している人たちもたくさんいる。自分たちだけ大変だとアピールしたいわけではないので、いまさら避難者と言いつけることに抵抗が出てきた。
- ・福島からの避難ではないため。関東からだと言えぬ口に出せない。
- ・どちらかというと言えぬ原発に近い地域からの避難を受け入れていた土地なので、そこから避難というと言えぬ周りの理解を得られない部分がある。(でも不安はあった)。自分としては“移住“の方が近いのかもしれない。
- ・ずっと東京に住んでいる人がいるから。
- ・周りに話しても「そうなんですか」とびっくりされて終わる。違う人を理解しようとする姿勢のなさ悲しくなる。
- ・8年も経っているから、言いにくい感じがしている。

□あまり抵抗はない

- ・もう広島県民であろうと思っています。
- ・事実だけど、子どもの将来に影響がないかということには心配。
- ・話す相手との意識の差を感じる場合抵抗がある。今まで批判されたことはないけれど。あまり注目されたくない。
- ・「避難者」という表現の受け止め方が個々で違うので、深く考えてない。

□全く抵抗はない

- ・自分の問題であるだけだから。
- ・原発事故のことを知ってほしい
- ・避難者ではないと言っても抵抗はない。どっちでもいいかなあ。
- ・現在ここにいる理由が確実に避難であったから。
- ・全員が好きな場所だから。
- ・周囲の仲間がとても暖かい気持ちで受け入れてくれているから。
- ・むしろ、忘れてほしくないため、自分から公表し話を聞いてもらっている。

Q19 今、楽しいこと、楽しみにしていることはありますか？

	回答数	%
はい	37	68.5
いいえ	7	13.0
無回答	10	18.5

子どもの成長／日常の暮らし／20代から続けているヨガ／店の今後／子どもとの時間／犬たちとの暮らし／旅行／自分自身の一人の人間としての自由な時間／子どもの進学／西日本のまだ行ったことのないところを観光すること／避難元から両親や親類が遊びに来ること／米作り／週1回の食事会／ESS／読書／家族で集まること／新居のセルフビルド／子どもが習い事に行っている合間の買い物／子どものスポーツの応援／カープの応援／家族との食事・外出／広島歴史・文化・町について知ること／町を歩くこと／アスチカの行事／学校での読み聞かせ／ホームステイの受け入れ／近県にいる友だちと会って遊ぶこと／習い事／実家への帰省／新しく始めた勉強

Q20 昨年7月の豪雨災害について

① あなたやご家族、お住いの地域に被害はありましたか？

	回答数	%
はい	16	29.6
いいえ	36	66.7
無回答	2	3.7

② (①「はい」の方) それほどのようなものでしたか？

近所が床下浸水・床上浸水／土砂崩れで道閉ざされた／田畑が被害に遭った。／住んでいた地区の半分が壊滅状態で今も帰れない／マンション1階が浸水して、エレベーターが止まった。／家屋倒壊。道路封鎖。断水／物流が滞り、買い物が困難になった／土石が流れ込んできた／道路が落ちた／川の氾濫

③ 避難をしましたか？

	回答数	%
迷わず避難した	3	5.6
迷ったが避難した	3	5.6
迷ったが、避難しなかった	13	24.1
迷わず避難しなかった	21	38.9
その他	3	5.6
無回答	11	20.4

④ ③の行動をした判断の理由や、行動までに大変だったこと(迷った方はその迷いについても)を教えてください。

迷わず避難した

- ・小さい子どもたちがいるので早めに動いた。また、何かあっても気づかれない地域なので、早めに脱出した。
- ・近くを流れる川が大変なことになっていたので迷いようがなかった。しかし他の住民は誰も逃げなかった。判断は川の状態だったが、川の被害は少なく、被害の大半は土石流によるものだった。そこに頭が働かなかったということは逃げはしたが、聞き意識が高かったとも言えない。
- ・娘を迎えに行く間に水かさが増している道・川を見て、家に残した家族に避難するように伝えた。10分後には準備し、避難所に行ってくれた。

迷ったが、避難した

- ・どこも土砂災害の危険地域だったため、自宅にとどまるか、少しでも安全だと思われるところへ行くべきか悩んだ。
- ・雨の降り方も、川の音も尋常じゃなかった。近くの川があふれると思った。ハザードマップ的にも「避難しなければ」と思うそばから「でも、大丈夫かもしれない」という考えも浮かんでしまったが、4年前の豪雨の時は真夜中で避難したくてもできなかった。明るいうちに動こうと思った。外に出たら、土のにおいが充満していて、動くのが遅いぐらいだったかもしれないと焦った。

迷ったが、避難しなかった

- ・近くの方は避難させられたので迷ったけれど、ここがダメならどこでもダメだろうと思った。
- ・避難の準備はしたが、避難所の学校が家の目の前なのと3階の住居なので、様子を見ていた。
- ・4年前の災害を知っていたので、避難勧告が出たときに迷った。近所の方からの情報で家にとどまったが、迷ったら避難はやはり大切だと考えさせられました。
- ・夜中に避難指示が出たが、夫が留守で、子ども二人を雨の中連れて出ることが大変だと思い、家にとどまる判断をした。しかし、大きな被害はなかったものの避難は念のためにできるようにしなければならないと思った。
- ・「避難準備」の警報だったので様子を見ていた。
- ・避難先の小学校の方が山に近かった。
- ・住んでいる集合住宅が4階建てなので、大雨の中、別の場所に移動するよりも、住んでいる建物の上に避難した方がよいと思ったので。
- ・避難勧告等が出ていたが、ハザードマップで自宅周辺に危険場所は無いと思っていたため、自宅にいる方が安全だと判断した。
- ・避難所が目の前の建物だったので自宅で待機した。主人が消防団活動で夕方～翌早朝まで留守で一人で過ごしたのでとても心細かった。

迷わず避難しなかった。

- ・近くの公民館へ避難するよりも自宅マンションの方が高層階にあり、安全であると判断。
- ・情報を十分に集めていたので判断に迷いがなかった
- ・特に必要がないと思ったから。
- ・完全に正常性バイアスがかかっていた。
- ・マンションの3Fに住んでいて、雨もたくさん降っていなかった。
- ・防災マップを見たら家にいるのが一番安全だった。

- ・避難所が自宅より低い川のそばで、その川が氾濫寸前だったから。
- ・避難場所までに川を3つ渡るの、それまでの道中が危ないと思ったため。
- ・(要介護の)母を連れては無理。
- ・近くに避難が必要になるようなことがないと判断したため(土砂や大きな河川などが近くになかった。)
- ・自治体から避難指示が出たが、近所でだれも避難している様子はなく、自宅にいても被害に遭うことはないだろうと考えたため。

□その他

- ・避難所が最も危ないエリアだったので自宅にいた。市に問い合わせたところ、「そうだったとしても避難場所を変えられない」と言っていて閉口した。

ハザードマップを事前に把握している割合が多いように思う。

⑤ 豪雨災害の被害に対して何か支援をしましたか？

	回答数	%
はい	32	59.3
いいえ	16	29.6
無回答	6	11.1

募金・義援金／土砂かき・残土のかたづけ／チャリティー活動に参加／片付けの手伝い／アシカでの支援物資の仕分け／物資提供(服など)／被災した知人のサポート、／土砂かき、差し入れ／チャリティーマルシェの開催／小屋裏地区への支援(ケア・泥かき出し、食事支援等)／ボラセンの手伝い、

⑥ 日頃の防災・減災のためにしていることで、今回役に立ったことがあれば教えてください。

- ・水、食料、ガソリンの備蓄
- ・ハザードマップを事前確認し、自分の地域の危険度を理解しておくこと。落ち着いて行動出来た。
- ・ほぼ自給自足の生活なので、いろいろ放っばり出してすぐ逃げられる。(社会的に)責任ある立場の人はなかなか動けないだろうと思う。
- ・食料の備蓄(水・米等)があったので、フェリーが止まり、スーパーに品物がなくなっても焦らずに済んだ。
- ・いざというとき、自分で判断する覚悟／自分の頭で考える
- ・ヘッドランプを持っておくこと
- ・日頃のシミュレーション、状況判断。家の井戸水。
- ・3.11からのローリングストック
- ・広島に来てからは山と水の防災マップを見るようにしている。なるべく危険な川や山の方には住まない。
- ・水路は常に管理しておく。
- ・東広島は2,3日陸の孤島のようになり、生鮮食品が入荷されなくなったが、庭の野菜、手作りパン・ヨーグルトなどあり、あまり困らずすごしました。自給率高いと生活維持しやすい。(水・熱源あってのことですので、この二つは備えておかないと思う。)
- ・風呂の水はすぐに捨てずになるべくためておく→トイレ等に使用できた。
- ・生きるための気持ちが高かいくらい。災害はいつも想定を超えてやってくるので、用意があれば十分ということはない。

Q21 交流カフェについて

① 参加したことはありますか？

	回答数	%
はい	45	83.3
いいえ	9	16.7

② 今後も必要だと思いますか？

	回答数	%
必要	32	59.3
不要	9	16.7
分からない	6	11.1
その他	7	13.0

Q22 アスチカに求めているもの、会員でいることの理由は何ですか？

(複数回答あり)

	回答数	%
他の避難者と知り合うため	12	22.2
避難者同士のつながり(交流会などには出ずとも)	36	66.7
アスチカニュースなどが届くこと	27	50.0
ご招待、支援物資などの情報獲得	10	18.5
公的支援の情報獲得	14	25.9
さまざまな催しの情報獲得	21	38.9
避難者であることの自己確認(「自分＝避難者」であることを確かにする)	6	11.1
困った時の相談場所として	24	44.4
精神的支え	12	22.2
避難者同士の情報交換のため	22	40.7
その他	2	3.7

Q23 「アスチカがあってよかったと思った瞬間があれば教えてください。ささやかなものでかまいません。

- ・相談できる場所があるという安心感
- ・支援や情報提供を受けたとき
- ・スタッフさんとのやり取り
- ・アスチカニュースが送られてくるたびに、被災地とつながっているように感じる。震災について定期的に考える機会をいただいている。
- ・お電話いただいたときに電話越しに心から安心してお話できる。用件とは違う自分自身の問題でも真摯に聞いてくれて、時には笑ったり、あの時は心が救われた。
- ・避難の件に関わらず、生活全般について相談できているので友人の少ない広島ではありがたい存在。また、同郷の方と話せるのは安心。
- ・昨年の豪雨災害の時に Tel をくださった時、「ここで死んでも見つけてくれる人がいる」と思った。
- ・アスチカ交流会で知り合えた仲間とは今でもつながりがある。なんでも話せる仲になっている。
- ・エコー体験会への機会
- ・避難しているのは自分だけではない。たくさんの方が広島で頑張っているのを知ると、心の支えになる。

- ・移住したばかりのころ、お金の余裕もなかった時に動物園に行く支援をつないでもらったこと。感謝している。
- ・8年前に広島に来て、しばらくしてアスチカを知った。それまでに知り合いなどは少しできていましたが、避難者であることだったり、「食材に気を付けている」、「関東から」などの共通の話題ができる人に遭えたことは、当時本当に救われた。
- ・同じ避難者のみんなと知り合えて話げできたこと。
- ・アスチカがあることで、親戚が近くに居なくても安心感がある。
- ・交流カフェにたまに参加すると、避難元の方といろいろと話せるので楽しく、なんだか懐かしい気分になれるのでありがたい。
- ・誰にも相談できず、精神的に大変追い詰められていた時、相談に乗っていただき、気持ちが落ち着きついた。
- ・自分と同じような境遇の方の思いに共感したとき

Q28 広島の中で生活をしながら心許せたり、頼り合ったりできる人とのつながりはできましたか？

	回答数	%
はい	44	81.5
いいえ	7	13.0
無回答	3	5.6

(「はい」の人)アスチカがなくても成り立つ？

	回答数	%
はい	41	93.2
いいえ	3	6.8

(「いいえ」の人)なぜ？(複数回答あり)

	回答数	%
出会っていない	5	71.4
時間がない	6	85.7
出会う場に行っても見つからない	0	0.0
必要としていない	1	14.3
その他	2	28.6

Q29 避難先での生活の中で、不足していると思うことはありますか？(「あと、これが揃えば(得られれば)、ある程度満たされた状況・気持ちで過ごせる」と思うもの)

	回答数	%
ある	17	31.5
ない	20	37.0
無回答	17	31.5

- ・しょっちゅう友人と会うこと。気のおけない友人とくだらないバカ話がしたい。
- ・家事を手伝ったり、子どもを見ってくれる存在かな…(笑)
たまに頼めていた親の存在がなく、自分で全部背負っているという思いが辛いな—と思うことがあります。
- ・生活が成り立つ収入のある仕事
- ・学校の選択肢
- ・持ち家。よい物件との出会い。

避難元別アンケート

【宮城県から避難している方】(回答数:3)

問 a 避難者であることで嫌な思いをされましたか？

	回答数
はい	1
いいえ	2

【福島県から避難している方】(回答数:28)

問b 福島県から来ていることで、これまでに「放射能」に関わることで嫌がらせやいじめを受けたことはありますか？

	回答数	%
はい	1	3.6
いいえ	24	85.7
無回答	3	10.7

問c 福島県に言いたいことはありますか？

- ・除染も限度があると思う、残念ですが。オリンピックとか無理はしてほしくない。
- ・フクシマは世界的に有名になった。フクシマが経験したこと、学んだことを世界に発信して行ってほしい。
- ・放射能の危険性を周知して、原発を辞めるよう働きかけること。
- ・県として被害をきちんと(明確に)訴えてほしい。国に、避難している者もしていない者も守る姿勢を求めてほしい。
- ・避難している者にもう少し細かい心遣いが欲しい。
- ・原発事故が本当に悔しい。
- ・住宅支援の継続を。
- ・健康被害の具体的な数値を公表してほしい。
- ・放射能の影響を過小評価しているように思う。器を守るのではなく、人を守ることをしてほしい

【関東圏から避難している方】(回答数:23)

問d 避難者であると周りの方に伝えていきますか？

	回答数	%
常に伝えている	6	26.1
一部のみにだけ伝えている	11	47.8
以前は伝えていたが、今は伝えていない	4	17.4
以前は伝えていなかったが、今は伝えている	0	0
以前も今も伝えていない	0	0.0
無回答	2	8.7

問 e 避難者であると伝えたことで嫌な思いをされましたか？

	回答数	%
はい	9	39.1
いいえ	12	52.2
その他	0	0.0
無回答	2	8.7

(「はい」の方)

- ・何を言っているんだろう？と不思議な顔をされて、話をそらされた。
- ・福島以外からの避難を異常だと思われた。
- ・「東京なのに？どうして？」

問 f 今、望むことは何ですか？

	回答数	%
関東圏からの避難への理解	8	34.8
支援範囲の拡大	4	17.4
住宅確保サポート	4	17.4
就職サポート	3	13.0
関東圏から避難している人との交流	6	26.1
その他	4	17.39

- ・関東も汚染されているという認識を多くの人を持つこと
- ・似た境遇の避難者との交流会

問 g 避難元自治体に言いたいことはありますか？

- ・5年後・10年後戻るための仕事マッチング・情報提供がほしい。(今、なにを学んで、どこに向かって成長すればいいのかわかるようにしてほしい)
- ・柏の汚染は住んでいても大丈夫なのか？誰か教えてほしい。
- ・放射能汚染のある地域だと認め、残っている子どもたちを守る対策を立ててほしいです。
- ・震災は終わっていない。続いていることを理解してほしい。
- ・安全とする基準値が高い。
- ・空間放射線量を測る高さが高い。子どもの生活する高さでない。